

再生医療の現状と展望

講師

梅澤 明弘 先生

(国立研究開発法人国立成育医療研究センター
研究所副所長/再生医療センター センター長)

日時

平成28年4月25日(月) 19:00 - 20:00

場所

第二中央診療棟2階 キャンサーボード

講演会概要

再生医療は、機能障害に陥った身体に対して、細胞をはじめとしたお薬を積極的に利用して病気の回復を図る医療です。現在、ほぼ全ての組織・臓器の再生に研究が行われており国内外で飛躍的な進歩が見られます。再生医療を支えるお薬には、全能性を有するES細胞やiPS細胞が知られています。また、身体の中にある細胞をお薬として利用することが知られています。再生医療では細胞をお薬として考え、現在は骨髄、皮膚、軟骨、胎盤、脂肪を供給源と考えられています。予想を超える細胞の有用性が次々と明らかになってきている中で、発生学、工学によって得られた情報で、病気に対する医療を完成させたいと考えております。皮膚、心臓、角膜、骨、腎臓、肝臓の機能を回復させる再生医療のお薬が臨床医療に貢献することになります。また、医療・研究を実践するうえで、再生医療にかかる倫理・法令・規制が平成25年に公布され、平成26年に施行されています。「再生医療を国民が迅速かつ安全に受けられるようにするための施策の総合的な推進に関する法律」、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(医薬品医療機器等法)」が新たに制定され、臨床研究として109件が承認され、お薬として4つの製品が世に出されました。そのような状況の中で、再生医療に関する日本と海外の取り組みを紹介するとともに、多くの病気に対して、新たな治療スキームを専門家とともに考えて参りたく思います。

主催:文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」/次世代高度医療推進センター
お問い合わせ:次世代高度医療推進センター Email: ngmc@med.tottori-u.ac.jp 内線:6745

(※)「革新的未来医療創造人材の養成」インテンシブコース(再生医療セミナーコース)の対象です。